FileCapsule 取扱説明書

macOS 版

2017年10月14日 作成

2018年10月20日 改定

目次

1.	概要3
2.	暗号化3
2.1.	暗号化するファイルやフォルダの選択3
2.2.	処理方法の選択4
2.3.	パスワードの入力と暗号化の開始5
3.	復号(元に戻す)7
3.1.	復号するファイルの選択7
3.2.	パスワードの入力と復号の開始8
4.	環境設定10
4.1.	環境設定画面10
4.2.	暗号化の設定11
4.3.	復号の設定12
4.4.	その他の設定14
5.	よくある質問と回答15
6.	サポート15
7.	仕様15
7.1.	暗号化と復号15
7.2.	暗号化ファイルの互換性16
8.	著作権情報16

1. 概要

本ソフトウェアは、世界標準の強力なアルゴリズムでファイルやフォルダの暗 号化を行うことができる暗号化ソフトです。

Windows や iPhone、Android で互換性のあるアプリを利用することで、様々な デバイス間で安全に暗号化ファイルのやりとりをすることができます。

- 2. 暗号化
- 2.1. 暗号化するファイルやフォルダの選択

ホーム画面で、以下のアイコンをクリックしてください。

	FileCapsule
	?
処理するアイテム	場所

クリックすると、ファイルとフォルダの選択ダイアログが表示されるので、暗号 化したいファイルまたはフォルダを選び、[選択]をクリックします。

	ダウンロード	٥		Q. 検索
よく使う項目 ■ マイファイル → iCloud Drive → アプリケーシ… ■ デスクトップ ● 書類				
🕑 ダウンロード				
デバイス ② リモートディ…				
共有	11			\frown
			キャンセル	選択

ファイルやフォルダの選択が終わったら、[次へ]をクリックしてください。

FileCapsule	終了 < 戻る	5 次へ>



暗号化したいファイルやフォルダは、他にも以下いずれかの方法で選択するこ とができます。

- Finder から FileCapsule のホーム画面にドラッグ&ドロップする。
- メニューから選択する。
 - ▶ メニュー > [ファイル] > [処理するアイテムを選択…]



2.2. 処理方法の選択

暗号化を行う場合は、[暗号化]を選択してください。

,	FileCapsule	
	 どのように処理を行いますか? 選択して 「次へ」をクリックしてください。 暗号化 自分だけが知っているパスワードで、アイテムの暗号化を行います 復号 暗号化されているファイルを元に戻します 	>
	FileCapsule 終了 <戻る 次へ>	

2.3. パスワードの入力と暗号化の開始

暗号化のパスワードを入力し、[処理開始]をクリックしてください。

	👌 🗋 🐼 🤇	FileCapsule	9	
パスワート	ドを入力して [処理開	始] をクリッ	クしてください	u)o
	パスワード ••••• パスワードの確認 •••••		ファイルをパス	マワードにする
FileCaps	sule	終了	< 戻る	処理開始

1 注意

- パスワードを忘れた場合は、復号が実質不可能になります。ご注意ください。
- パスワードが他の人に知られた場合は、暗号化ファイルが勝手に復号される恐れがあります。パスワードの管理には十分ご注意ください。

情報

[ファイルをパスワードにする…]機能について
 パスワードを手動で入力する代わりに、任意のファイルの中身からパスワード
 を自動で生成することができます。ファイルの中身が変更された場合は、生成されるパスワードも変わりますのでご注意ください。

3. 復号(元に戻す) 3.1. 復号するファイルの選択

ホーム画面で、以下のアイコンをクリックしてください。

	FileCapsule	
	🌣 🕜	
処理するアイテム	場所	

クリックすると、ファイルとフォルダの選択ダイアログが表示されるので、復号 したいファイルを選び、[選択]をクリックします。



ファイルの選択が終わったら、[次へ]をクリックしてください。

FileCansule	終了 < 月	える 次へ >



復号したいファイルは、他にも以下いずれかの方法で選択することができます。

- Finder で復号したいファイルをダブルクリックする。
- Finder から FileCapsule のホーム画面にドラッグ&ドロップする。
- メニューから選択する。
 - ▶ メニュー > [ファイル] > [処理するアイテムを選択…]



3.2. パスワードの入力と復号の開始

暗号化の時に入力したパスワードと同じパスワードを入力し、[処理開始]をクリ ックしてください。

	FileCapsule
パスワードを入力して [奴	¹ 理開始] をクリックしてください。
復号するファ	イル
/User: 71.2 ME	s/tomokifuke/Downloads/議事録.fcxe 3 - 2017/08/31 22:38
パスワード	
•••••	
	ファイルをパスワードにする
FileCapsule	終了 く戻る 処理開始



● [ファイルをパスワードにする…]機能について

パスワードを手動で入力する代わりに、任意のファイルの中身からパスワード を自動で生成することができます。ファイルの中身が変更された場合は、生成さ れるパスワードも変わりますのでご注意ください。

- 4. 環境設定
- 4.1. 環境設定画面

本ソフトウェアの環境設定画面は、以下のいずれかの手順で開くことができま す。

● メニュー > [FileCapsule] > [環境設定…]

FileCapsule	ファイル	৮ র	表示	ヘルプ	
バージョン情	報				
環境設定		¥.			
FileCapsule	と限す	жн ‱			
はかを限9 すべてを表示	<u>ر</u>	жΗ			
7. (2.2.1)					
FileCapsule	を終了	жQ			
	FileCapsule パージョン情 環境設定 FileCapsule ほかを隠す すべてを表示 FileCapsule	FileCapsuleファイルパージョン情報環境設定FileCapsuleを隠す ほかを隠す すべてを表示FileCapsuleを終了	FileCapsuleファイル 割パージョン情報環境設定環境設定第にとなり第にとなり第にとなり第にとなり第にとなり第にとなり第にとなり第にとなり第にとなり第二の第	FileCapsuleファイル 表示パージョン情報環境設定第境設定ポ、FileCapsuleを隠すなべてを表示FileCapsuleを終了第Q	FileCapsuleファイル 表示 ヘルプパージョン情報環境設定第点設定ドleCapsuleを聴すおH はかを隠すすべてを表示FileCapsuleを終了第Q

● FileCapsule ホーム画面 > [環境設定…]

	FileCapsule
処理するアイテム	場所



本ソフトウェアで複数のウィンドウを開いている場合でも、環境設定画面はす べてのウィンドウに共通のものが1つだけ表示されます。また、どのウィンドウ から環境設定画面を開いたかに関わらず、環境設定変更後はすべてのウィンド ウに対して、その設定が有効となります。 4.2. 暗号化の設定

暗号化に関する設定は、環境設定画面の[暗号化の設定]タブで行うことができま す。

		環境設定		
	暗号化の設定	復号の設定	その他の設定	
暗号化如	<u>u</u> щ			
	のマイニトの作品	ロヰゎッとたねせ	÷≠ z	

各設定項目の詳細は以下のとおりです。

暗号化処理		
(1)	元のアイテムの作成日	暗号化するファイルまたはフォルダのタイム
	時などを保持する	スタンプ(作成日時、更新日時、最終アクセス
		日時)を暗号化時に記録します。 記録されたタ
		イムスタンプは、復号時に復元されます。
暗号	化されたファイルの保存労	
(2)	暗号化時に選択する	暗号化開始時に、暗号化ファイルの保存先を
		選択するダイアログが表示されます。
	指定したフォルダ	暗号化ファイルを、指定されたフォルダに保
		存します。この設定を行う場合、[参照]ボタン
		で保存先のフォルダを併せて選択してくださ
		<i>۷</i> ، م
保存の方法		
(3)	暗号化ファイルの名前	作成される暗号化ファイルの名前に、暗号化
	に元の拡張子を含める	前のファイルの拡張子を含めます。
		例)暗号化するファイルの名前が「資料.docx」
		で、本設定が有効な場合は、暗号化後のファイ
		ル名が「資料.docx.fcxe」となります。本設定

		が無効な場合は、	「資料.fcxe」となります。
(4)	一つの暗号化ファイル	暗号化するすべてのファイル、およびフォル	
	にまとめる	ダを、一つの暗号	化ファイルにまとめて暗号
		化します。	
	リストのアイテムごと	ホーム画面のリス	トに追加されたファイル、
	に暗号化する	またはフォルダご	とに暗号化ファイルを作成
		します。	
	ファイルごとに暗号化	ファイルだけを列	挙して、それぞれ個別に暗
	する	号化します。この	設定ではフォルダは暗号化
		されません。	
暗号	化後の処理		
(5)	暗号化後に元のアイテ	ゴミ箱へ	暗号化後のファイルまた
	ムを削除する		はフォルダをゴミ箱に移
			動します。
		削除	暗号化後のファイルまた
			はフォルダをゴミ箱に移
			動せずに削除します。
		上書き後に削除	暗号化後のファイルを上
			書きしてから削除します。
			ファイルの復元ソフト等
			による復元を防ぐのに一
			定の効果があります。フォ
			ルダについては上書きせ
			ずに削除します。

4.3. 復号の設定

復号に関する設定は、環境設定画面の[復号の設定]タブで行うことができます。



各設定項目の詳細は以下のとおりです。

復号されたアイテムの保存先			
(1)	復号時に選択する	復号開始時に、復号	されたアイテムの保存先を
		選択するダイアログ	が表示されます。
	指定したフォルダ	復号されたアイテム	を、指定されたフォルダに
		保存します。この設	定を行う場合、[参照]ボタ
		ンで保存先のフォル	ダを併せて選択してくだ
		さい。	
保存	の方法		
(2)	新しくフォルダを作成	保存先のフォルダに	、暗号化ファイルと同名の
	してその中に復号する	フォルダを作成し、・	その中にアイテムを復号し
		ます。	
復号	復号後の処理		
(3)	保存先のフォルダを復	復号完了時に、復号	されたアイテムが保存され
	号後に開く	たフォルダを自動的	に開きます。
(4)	復号後に暗号化ファイ	ゴミ箱へ	復号後の暗号化ファイル
	ルを削除する		をゴミ箱に移動します。
		削除	復号後の暗号化ファイル
			をゴミ箱に移動せずに削
			除します。
		上書き後に削除	復号後の暗号化ファイル
			を上書きしてから削除し
			ます。ファイルの復元ソ
			フト等による復元を防ぐ

	のに一定の効果がありま
	す。

4.4. その他の設定

暗号化および復号に共通する設定は、環境設定画面の[その他の設定]タブで行う ことができます。

		環境設定		
	暗号化の設定	復号の設定	その他の設定	
セキュリ	リティ			
אה 🖂	オゴムの確認を行う	5		

各設定項目の詳細は以下のとおりです。

セキュリティ		
(1)	改ざんの確認を行う	暗号化時にファイルの情報を記録し、復号時
		に、ファイルが正しく復号できたかどうかを確
		認します。本機能を利用する場合は、暗号化時、
		および復号時いずれも本設定を有効にしてお
		く必要があります。

5. よくある質問と回答

質問	回答
企業や会社、商用で利用する場合も無	はい。無料でご利用になれます。
料で利用できますか?	
暗号化時に入力したパスワードが分	申し訳ございませんが、暗号化時に入
からなくなりました。データを元に戻	力したパスワードを入力する以外に、
すことはできますか?	データを元に戻す方法はございませ
	ん。入力した可能性のあるパスワード
	を順番に入力し、復号ができるかどう
	かご確認をお願いいたします。

6. サポート

本ソフトウェアに関するお問い合わせや、不具合等のご連絡は、以下のメールア ドレスまでお願いいたします。

support@resume-next.com

なお、いただいたご質問は、元の文章がわからない形で「よくある質問と回答」 に記載させていただく場合がございます。掲載されてしまうと不都合がある場 合は、その旨ご連絡いただければ掲載はいたしません。何卒ご協力よろしくお願 いいたします。

7. 仕様

7.1. 暗号化と復号

最大パス長	259字
パスワードの最大長	64字
暗号化可能な最大データ数	327675 個
1ファイルあたりの処理可能最大サイ	18446744073709551615 バイト
ズ	(約 16777216TB)

7.2. 暗号化ファイルの互換性

Windows デスクトップ版	FileCapsule Deluxe Portable Ver.2.00	
	以降	
Windows ストア版	Ver.1.00 以降	
iOS 版	Ver.1.00 以降	
Android 版	Ver.1.00 以降	

8. 著作権情報

本ドキュメントに記載されている社名および商品名は、本文中には明記していませんが、一般に各メーカーの商標または登録商標です。